

2023 年度

学校評価結果報告書

学校法人金剛学園

大阪金剛インターナショナル小学校

2023年度 大阪金剛インターナショナル小学校 学校評価

1. 目指す学校像

韓国系国際学校として多様な国籍の児童がいる中で、お互いの文化や背景を尊重しながら、国際人意識を深め、日本と韓国は勿論、世界に広がる人材を育成できる学校を目指す。また、多様な夢を共に実現できる場を提供する学校づくりのために努力すると同時に、正しい人格と実力を備えた人材育成を図ることを目指している。

- ・豊かな国際感覚の育成
- ・温かい心、人間性の育成
- ・確かな学力の育成
- ・主体的に取り組む児童の育成
- ・教育環境の充実

2. 中期的目標

1. 豊かな国際感覚の育成

- ① 韓国語の語学力を向上させる。また韓国語能力試験対策を実施、より高い資格を習得できるようにする。國人グローバルメントリング・ペジヨングローバルメントリング（韓国の大学生が行うプログラム）の実施。

オンライン科学教室（韓国の学校とオンラインで科学のプログラムを実施。）

- ② 英語の語学力を向上させる。放課後英会話を実施。英語検定力試験対策を実施し、より高い資格を習得できるようにする。
- ③ 国際的な行事や語学活動を通し豊かな国際感覚を醸成する。
（旧正月行事・韓国語弁論大会・英語スピーチコンテスト・ハロウィンなど）

2. 温かい心、人間性の育成

- ① 礼儀正しく、規則を守り、基本的な生活習慣を持つ子どもを育てる。
- ② 人権教育の推進を図り、相手の立場を理解できる思いやりのある豊かな人間性を育む。
- ③ 主体的に取り組む力を育てる。（「7つの習慣」の考えを取り入れたプログラム「リーダー・イン・ミー」の実践。）

3. 確かな学力の育成

- ① 基礎・基本となる学力の定着を図る。（算数分班授業、日本語・韓国語基礎補習授業の実施。）
- ② 分かる授業を行い、学習内容を確実に習得出来るように教材研究をする。
- ③ 本校の教育顧問と連携し、授業力向上のため研究授業・教員研修会を実施し、教師の授業力向上を目指す。

4. 教育環境の充実

- ① 教育環境の充実。（各教室にノートパソコン・電子黒板設置、iPad75台完備、PC教室のノートP充実、eラーニング導入）
- ② 安全教育の充実。（安全教育研修実施、防犯カメラ設置、AED設置、防災セット完備、スクールバス運行、下校指導・避難訓練〈火災・地震・津波〉）

3. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">豊かな国際感覚の育成</p>	<p>① 語学力向上 -韓国語-</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別 4 班編成で授業を実施。 ・3.4 年,5.6 年年で無学年制授業とする。(1.2 学年は単学年での実施。) ・通常授業で TOPIK 対策授業をレベル別に 4 班編成で実施。放課後 TOPIK 対策授業をレベル別に 3 班編成で実施。 ・校内での韓国語使用率を増やし、韓国語で会話ができる力を養う。 ・1.2 年の生活科で韓国語イメージ教育を実施。 	<p>韓国語能力試験 (TOPIK)、校内韓国語試験の結果、校内での韓国語使用頻度、韓国語弁論大会のレベルなどを指標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語の授業では本国班はもちろん、初級班、中級班もほとんど韓国語だけで授業を行うことで児童の韓国語の実力が伸びた。 ・今年度韓国語能力検定試験の会場となり試験を実施した。そのため、受検者も多く、合格率も上がった。 ・43 人中 34 名合格 (79%) 6 級 1 人、5 級 5 人、4 級 5 人 3 級 7 人、2 級 3 人、1 級 11 人。
	<p>② 語学力向上 -英語-</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業を全学年週 3 時間確保する。高学年はそのうち 1 時間を英検の授業とする。 ・1 学年～4 学年はすべての授業を習熟度別の 3 班編成授業とする。 ・5.6 年は無学年制の 3 班編成授業とする。 ・4～6 年生は英語検定試験を受験し、各学年にあった級の合格を目指す。 ・週 3 時間放課後英会話授業を全学年実施。低学年、高学年ともは習熟度別 3 班編成。 ・1～3 年生の音楽・体育・図工で英語イメージ教育を実施。 ・1～3 年生で英語の読み聞かせを実施。 	<p>英検の結果、英語の考査、授業での英語使用頻度、習熟度を指標とする。 1～3 年生は英語イメージ教育での理解力や学習活動も指標とする。 また、放課後英会話授業の活動も指標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5・6 学年で無学年生習熟度別 3 班編成授業、1 学年～4 学年での 3 班編成授業を実施することで児童の実力がさらに向上した。 ・英語の授業以外でイメージ授業や放課後英会話の授業で英語の使用頻度も上がり、英語の力がついた。特に聞く力が向上した。 課題としては、昨年度同様、話す力をつける必要がある。 ・英検の授業を習熟度別 3 班編成で実施し、英語検定試験では昨年度より合格率が上がった。 ・55 人中名 46 (83.6%) が合格。(2 級 2 名・準 2 級 2 人・3 級 3 人・4 級 11 人・5 級 30 人)

	<p>③ 国際感覚 育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旧暦正月行事を行う。 ・韓国の伝統的な正月を知る。 ・韓国語弁論大会の実施。 ・全校児童の前で韓国語の発表を行う。 ・韓国に触れる機会(行事)を作る。(國人グローバルメントリング・ペジョングローバルメントリング) 	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の伝統的な正月の理解、韓国語の発表のレベルを指標とする。 ・ハロウィンなどのアメリカの行事も学習に取り入れ、楽しく英語を学ぶ。 ・海外との大学生によるプログラムなど積極的に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の名節「旧正月」の体験ができた。 ・國人グローバルメントリング・ペジョングローバルメントリングを実施し、韓国の大学生と交流することで、積極的に韓国語でコミュニケーションを取ることができた。 ・ハロウィンの行事ではネイティブ教師が仮装して、ハロウィンのフレーズ等を楽しみながら教え、児童が楽しく学んだ。
<p>2 温かい心、 人間性の 育成</p>	<p>① 礼儀正しく、規則を守り基本的生活習慣を持つ子どもを育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで正しい姿勢で元気よく挨拶ができるように教師が率先して最寄り駅、校門前で挨拶運動をする。 ・集団下校、下校指導実施。 ・登下校や公共でのマナー、学校でのルールや安全について指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員だけでなく、保護者や来客にも挨拶できるようになる。校内だけでなく駅員など校外でも挨拶ができるようになる。 ・公共マナーを守る。 ・授業開始時間には準備を終わらせ着席できる。 ・上記のことが主体的にできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に挨拶ができる児童と、そうでない児童の差が大きい。 ・教師が集団下校を引率しているため、最寄り駅でのマナーは良い。 ・下校時急いで電車に乗る児童が見られるので、安全に乗車できるよう指導が必要である。 ・大半が授業準備、時間を守る習慣ができています。 ・全てにおいて児童が主体的に行えるよう継続して指導が必要。
	<p>② 人権教育の 推進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小5・6年生はエゴグラムを行い、自分の性格特徴を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・違いを認め、自他ともに大切にすることを持つ児童になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リーダー・イン・ミー」の授業で他者理解について学ぶことができた。 ・エゴグラムでは自分を知ることによって相手を理解する心を持つきっかけとなった。

	<p>③ 主体的に取り組む力を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「7つの習慣」の考えを取り入れたプログラム「リーダー・イン・ミー」を実践し、学習面、生活面で主体的に取り組み、リーダーシップ・責任感・創造力・問題解決力・自発性・チームワーク能力を身に付け、児童が主体的に取り組む新しい金剛学園の文化を創造する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リーダー・イン・ミー」の授業を実施し、児童が主体的に学級活動、児童会活動、クラブ活動に取り組むこと、児童が主体的に学習活動に取り組むことを指標とする。 ・教室、廊下等の掲示物。 ・7つの習慣を学校生活に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週に1時間道徳の授業を使い、「リーダー・イン・ミー」の授業を展開し、すべての子どもが自分自身のリーダーになり、責任をもってリーダー活動をすることができた。 ・教師の研修にも力を入れ、児童への指導力強化ができたと思われる。
	<p>① 基礎・基本となる学力の定着を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4, 5年の算数の授業を習熟度別分2班編成で実施する。 ・韓国語基礎補習授業、日本語基礎補習授業、日本語入門授業、算数基礎補習授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数制授業を実施することで、つまづきをすぐに発見し、きめ細やかな指導を行う。 ・学力向上を目指す。また、転編入生の韓国語・日本語の習得も指標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年の算数の授業を習熟度別2班編成で行うことできめ細かな学習指導ができ、基礎学力向上につながった。 ・転編入生には母語以外の言語（韓国語・日本語）基礎補習日本語入門授業を行い、正規授業の内容についていけるように補助ができた。特に日本語の時間数を多くとり、大きな成果が得られた。
<p>3. 確かな学力の育成</p>	<p>② 分かる授業を行い、学習内容を確実に習得できるように教材研究をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の研修に参加して指導力アップを図る。 ・理科（3～6年）に専科教員を配置し、系統を立てた授業を展開する。 ・算数でTT授業を実施する。 ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する。 ・電子黒板、タブレットを活用して、楽しく分かりやすい授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TT授業できめ細かな指導を行う。 ・児童が見通しをもって粘り強く学習に向かい、考えを広げ、深め、思考・判断・表現をさせる場면을効果的に設計し指導する。 ・電子黒板やタブレット等を活用することで学習意欲を高める。 ・研究授業、研修会を定期的実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TT授業授業を行い、児童のつまづきに気付き、きめ細かい指導ができた。各教科で積極的に教材（PPT等）を作成し、児童の興味関心を引き出すことができた。 ・「主体的・対話的で深い学び」を実践するため、学期に1度研究授業を行い、授業力向上のため研修も開催され、授業力向上につながった。 内部の研修だけではなく、外部研修にも積極的に参加したい。 ・電子黒板、タブレットの活用を積極的に行った。

	③ 教師の授業 力向上	・全教師に研修費用支給。外部 研修参加や教育図書を購入。	・外部研修参加や教 育図書を購入。	・外部研修参加や教育図書を購入 することで教師の授業力が向上 した。
4 教育環境の 充実	① 電子機器充 実	・各教室にノートパソコン・電 子黒板を設置し、児童が見やす く分かりやすく、楽しい授業を 行う。 ・遠隔授業の準備として、4～ 6年生を対象に学校でタブレ ット、ノートパソコンを使った 遠隔授業を行う。	・パワーポイント等 コンピューター等 で成した教材を活 用し、児童に興味、 関心を持たせ、学習 意欲を高める。 ・遠隔授業の推進、 準備のため、環境整 備と授業準備を実 施する。	・韓国語・英語・韓国社会・道徳 で効果が大きく、児童が興味、関 心を持ち、積極的に学習に取り組 むことができた。 ・校内で遠隔授業、集会等を実施。 ・4～6年生は学校内で遠隔授業 を実施し、オンライン授業実施に 向けて準備することができた。
	② 安全教育の 充実	・スクールバス運行 下校（15:10発・17:30発）。 ・AED設置 ・AED研修実施 ・防犯カメラ設置 ・警備員の配置 ・下校指導 ・避難訓練実施 （火災・地震・津波対応） ・防災セット完備 ・新型コロナウイルス感染症予防設備を 備える。	・登下校時にスクー ルバスを運行する。 ・1日に3回、最寄 りの駅まで教師が引 率し集団下校を実 施。 児童が電車に乗るま で見届ける。 ・1年に3回避難訓 練及び、訓練前の講 習を行う。 ・全校児童の防災セ ットを完備。	・警備員を配置し、防犯カメラも 設置していることもあり、か、不 審者の侵入等の事件は一度もな かった。 ・最寄りの駅までの集団下校を教 師が引率することで事故やトラ ブルが一度もなかった。 ・急いで電車に乗ろうとするた め、駅構内を走る児童がいる。乗 車マナー向上に力を入れる必要 がある。 ・津波対応の避難訓練では、小学 校から高校まで、近隣の施設に避 難する訓練を実施することがで きた。

2023年度 大阪金剛インターナショナル小学校 学校評価アンケート
【4・5・6年】

・実施日：2024年3月

・対象児童：65名（4年：23名 5年：24名 6年：18名）【回答率】88%

A：よくあてはまる B：あてはまる C：ふつう D：あまりあてはまらない E：まったくあてはまらない

		A	B	C	D	E
1	学校に行くのが楽しい。	31.6	33.3	22.8	8.8	3.5
2	友だちとなかよくしている。	47.4	38.6	8.8	5.3	0
3	授業は、わかりやすい。	17.5	38.6	36.8	3.5	3.5
4	家で学習や読書をしている。	12.3	33.3	28.1	17.5	8.8
5	先生は、自分のことを理解してくれている。	24.6	36.8	26.3	5.3	7
6	宿題や準備物などを忘れないようにしている。	15.8	36.8	35.1	8.8	3.5
7	進んであいさつをしている。	31.6	40.4	15.8	7	5.3
8	学校でいろいろなルールを守る大切さを学び、守っている。	17.5	40.4	35.1	5.3	1.8
9	だれに対しても思いやりをもって接している。	7	45.6	35.1	7	5.3
10	毎日十分なすいみんをとっている。	22.8	35.1	22.8	8.8	10.5
11	毎日朝ごはんを食べている。	50.9	19.3	15.8	5.3	8.8
12	学校行事は楽しい。	68.4	14	10.5	5.3	1.8
13	係や当番の仕事、委員会活動などをがんばっている。	29.8	35.1	21.1	7	7
14	クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	35.1	28.1	17.5	10.5	8.8
15	安全に通学している。	56.1	31.6	5.3	0	7
16	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学んでいる。	66.7	19.3	10.5	3.5	0
17	学校からの案内文をおうちの人にわたしている。	49.1	29.8	15.8	3.5	1.8
18	教室・特別教室・運動場の施設などは、使いやすい。	47.4	28.1	17.5	0	7
19	道徳（リーダー・イン・ミー）の授業で「7つの習慣」が身についてきている。	8.8	47.4	28.1	12.3	3.5

2023年度 大阪金剛インターナショナル小学校 学校評価アンケート

【保護者】

・実施日：2024年 3月

・対象：小学校保護者（121世帯中 81世帯の回答）【回答率】67%

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：ふつう D：あまりあてはまらない E：まったくあてはまらない

		A	B	C	D	E
1	学校の教育方針が明確である。	29.4	32.4	35.3	2.9	0
2	学校は、他校にない独自の教育活動を行っている。	50.7	39.1	8.7	1.4	0
3	学校は、教育活動や子どもの様子を、学級通信・ホームページ等を通して伝えている。	34.8	36.2	18.8	7.2	2.9
4	学校は、全教職員で協力し合い教育活動に取り組んでいる。	30.4	50.7	14.5	2.9	1.4
5	学校は、行事や授業参観・懇談会などを通して、子どもの学校生活の様子が分かるような機会を設けている。	46.4	39.1	11.6	2.9	0
6	学校は、より良い施設・教育の環境整備に努めている。	31.9	49.3	11.6	4.3	2.9
7	学校は、学校生活で問題が生じたときに、迅速・的確に対応している。	31.9	33.3	21.7	11.6	1.4
8	学校は、子どもの安全教育に努めている。	40.6	30.4	26.1	2.9	0
9	学校は、韓国文化を学ぶ機会を設けている。	68.1	26.1	5.8	0	0
10	学校は、語学教育に取り組んでいる。	55.1	30.4	11.6	2.9	0
11	学校は、子どもの学力向上に取り組んでいる。	31.9	40.6	21.7	4.3	1.4
12	学校は、健康・食事の大切さ、病気の予防について指導している。	21.7	39.1	31.9	5.8	1.4
13	学校は、いじめや不登校のないように取り組んでいる。	21.7	34.8	36.2	7.2	0
14	学校は、子どもたちの活躍する場を設けている。	34.8	36.2	29	0	0
15	学校は、守るべきルールやマナーを教えている。	29	34.8	31.9	4.3	0
16	学校は、クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	23.9	38.8	26.9	10.4	0
17	学校行事は、みんなが楽しく行えるように工夫されている。	31.9	43.5	23.2	1.4	0
18	お子さんは、基本的な生活習慣が身についている。	30.4	39.1	26.1	4.3	0
19	お子さんは、楽しく学校に通っている。	55.1	30.4	10.1	2.9	1.4
20	お子さんは、安全に通学している。	55.1	30.4	14.5	0	0
21	お子さんは、きまりや約束ごとを守っている。	24.6	47.8	23.2	4.3	0
22	お子さんは、進んで宿題をする習慣がついている。	24.6	37.7	24.6	13	0
23	お子さんは、宿題以外に進んで学習や読書をする習慣がついている。	15.9	23.2	26.1	30.4	4.3
24	お子さんは、道徳（リーダー・イン・ミー）の授業で「7つの習慣」が身につけてきている。	18.8	21.7	39.1	17.4	2.9

2023年度 大阪金剛インターナショナル小学校 学校評価アンケート

【教職員】

・実施日：2024年 3月

・対象：小学校教師（16名中14名回答）【回答率88%】

該当する記号の欄に○を付けてください。

A:とても思う B:やや思う C:思う D:やや思わない E:思わない

分類	評価の観点	評価項目	設問	A	B	C	D	E
学校運営	本校の独自性	建学の精神について	建学の精神が教職員、生徒、保護者など学校関係者によく浸透している。	7.1	14.3	64.3	14.3	0
		学校の教育目標について	学校の教育目標を教職員、学校関係者が理解している。	7.1	64.3	14.3	14.3	0
	教育課程	学習指導要領および教育計画について	学習指導要領に沿った教育計画を立てている。	7.1	57.1	28.6	7.1	0
	教職員連携	教員・教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	7.1	14.3	64.3	14.3	0
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	7.1	28.6	50	14.3	0
	財務関係	財務に関して	学校の予算、決算の収支について理解している。	14.3	21.4	35.7	14.3	14.3
	情報公開	ホームページの活用状況	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	14.3	50	21.4	14.3	0
	危機管理	危機管理対応状況と役割分担について	危機管理マニュアルによる災害・事故・事件についての役割分担、警察・消防との連携・訓練など学校の安全対策	7.1	57.1	21.4	14.3	0
開かれた学校づくり	地域交流について	地域や地域住民との交流ができています。	7.1	0	35.7	35.7	21.4	
教育内容	国際人教育	語学能力の育成	韓国語、英語、日本語のトリリンガル教育に十分取り組み、語学能力の育成を図っている。	14.3	50	35.7	0	0
		アイデンティティー教育	自己のルーツを知り、誇りと自信を持って、自ら行動できる生徒の育成に取り組んでいる。	7.1	42.9	42.9	7.1	0
		国際理解	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	21.4	35.7	35.7	7.1	0
	情報教育	情報能力育成とモラル指導	児童の情報能力の育成と情報を扱うモラル面の教育に十分に取り組んでいる。	7.1	21.4	42.9	28.6	0
	人権教育	教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	7.1	21.4	57.1	14.3	0
	環境教育	実践的態度の育成	児童に清掃、校内美化に取り組みさせている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。	7.1	14.3	64.3	14.3	0
	健康・食育	健康・食に関する指導につ	健康教育、食育などにも配慮している。	7.1	7.1	50	28.6	7.1
	児童会活動	児童会活動について	児童活動を通じて、児童が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	7.1	50	35.7	7.1	0
	その他	読書推進	図書室の利用促進など読書指導に取り組んでいる。	7.1	21.4	42.9	28.6	0
		部活動	部活動は活発である。	14.3	42.9	42.9	0	0
学校行事		体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。	42.9	35.7	7.1	14.3	0	
児童指導・支援	生活指導	指導方針の一貫性	生活指導は学校の方針に従っている。	14.3	50	35.7	0	0
		安全教育と規範意識の高揚	校内巡視や登校指導等定期的に実施し、事故を未然に防ぐ体制がある。	21.4	21.4	57.1	0	0
		家庭との連携状況	生活指導において、家庭との連携ができています。	14.3	42.9	35.7	7.1	0
	児童支援	学習指導について	学習習慣の定着を指導する体制があり、児童の実態に合わせた工夫・改善を行っている。	7.1	21.4	57.1	14.3	0
		進路指導について	児童一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような情報提供など支援体制がある	7.1	35.7	28.6	28.6	0
資 教 質 員 向 研 上 修	教員研修	教員の資質向上について	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	7.1	21.4	42.9	28.6	0
		初任者のサポート状況	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。	7.1	7.1	57.1	14.3	14.3
		校外研修	教員が計画的に校内・外の研修を受ける体制が整っている。	14.3	21.4	35.7	28.6	0

大阪金剛インターナショナル小学校学校評価アンケート

*小学校では4・5・6年生を対象にアンケートを実施した。

【4・5・6年生分析】

- 【①】 「学校に行くのが楽しい」にB以上が64.9%と昨年と比べ上がっているのが分かる。またD・Eの評価が昨年とあまり変わらないので次年度には減らせるように取り組みたい。
- 【② ⑤】 「学校でいろいろなルールを守る大切さを学び、守っている。」の評価は高くなっているが、校内、校外とルールが守れていないところがあるので、次年度ではさらに評価が高くなるよう取り組みたい。
- 【⑫⑬⑭】 「学校行事は楽しい」「係や当番の仕事、委員会活動などをがんばっている」「クラブ活動に積極的に取り組んでいる」が昨年同様、評価が高くなっており、児童が主体的に学校生活を送っていることが分かる。
- 【⑰】 「7つの習慣」の習得について、Dの評価が低くなっているため、次年度は取り組む内容を見直したい。

【対 策】

【①②⑤⑫⑬⑭⑰】 児童が1日の大半を過ごす学校が楽しくなるよう、また教師と児童の良好な関係が構築できるよう、毎月カウンセリング協議会を実施する。1年間で2回、学校適応アンケートを実施し担任との面談などに活用する。児童の様子、児童を取り巻く状況把握に努め、心情の変化を察知し、児童に寄り添った指導ができるようにし、全教職員で情報共有も確実に行う。評価が低い項目はどこに問題点があるのかしっかり把握する。

【⑰】 「リーダー・イン・ミー」（道徳の時間）を活用し「7つの習慣」の考えを学び、授業や学級活動、児童会活動、クラブ活動等、児童が主体的に活躍できるようにする。よりよい人間関係を築けるようにする。学校の規律、社会の規律を理解し、主体的にルールを守る気持ちを育てる。

- ・リーダーシップの発揮…教職員が模範となり子供たちのリーダーシップを育む。
- ・文化の創造…児童が主体となって学校文化を築く。
- ・学力向上…主体的な学びによって学力を向上させる。

*小学校では1～6年生の保護者を対象にアンケートを実施した。

【保護者分析】

- 【①】の評価は昨年度よりA・Bが低くなっているため、保護者に向けてしっかり発信したい。
- 【② ⑨⑩】の評価が高くなっている。本校の特徴である語学教育や韓国文化習得など、本校独自の教育活動が昨年度同様、高く評価されていることが分かる。
- 【⑥】の評価が高くなっている。運動場を人工芝にしたり、体育館に冷暖房を設置したりするなど、教育環境整備が高く評価されていると思われる。
- 【⑱⑳】「宿題以外での学習、読書の習慣」の項目でDが25.6%、Eが11.5%ということから、学習に対して主体性を持てるよう教員研修を実施し、評価をあげる。
- 【㉔】「7つの習慣」の習得については、昨年度とあまり変わらず評価が低かったと言える。まだまだ「7つの習慣」の考えが浸透していないことが分かる。

【対 策】

【⑩】保護者の期待が高い語学教育については、イマージョン教育の導入や習熟度別無学年制を導入する等、毎年カリキュラムのバージョンアップを行ってはいるが、今後も効果的な学習成果が得られるよう、ネイティブ教師の増員、イマージョン授業の増時数増加などの工夫が必要である。児童の語学能力向上が可視化できるよう検定試験の合格率を上げる。また、英語・韓国語の弁論大会など、本校の取り組みを発信し、本校の特化されたプログラムを醸成させる。

【⑱⑳㉔】「リーダー・イン・ミー」の授業内容の改善のための研修を強化する。「7つの習慣」の考えを浸透させることで、授業、学校行事、クラブ活動等、児童が主体的に取り組み、達成感、成功体験を得ることができるようにする。

【教職員分析】

本校の教育目標を教員が理解し実践していると思われる。また、語学能力（英語・韓国語・日本語）の育成に評価が高く、教師自身も語学能力向上のため熱心に取り組み、韓国語検定試験を受験する教師も見られる。

「地域交流について」評価が低くなっている。近隣に住宅や学校も少ないため評価が低くなっている。

【対 策】

教師の語学力をさらに向上させるため、教師間で英語、韓国語、日本語の3か国語を積極的に話すようにする。

「教員研修・資質向上について」

教員研修会等、外部機関の研修にも引き続き参加できるよう支援を行う。

2023年度学校評価 学校関係者評価委員会報告書

1. 実施日時：2024年10月5日(土) 午前10時分～12時

2. 場所：本校会議室

3. 出席者名簿

No.	氏名	役職
1	姜 信哲	大阪金剛インターナショナル小中高等学校 校長
2	尹 裕淑	大阪金剛インターナショナル小中高等学校 副校長
3	趙 誠洙	金剛学園PTA 会長
4	米田 百合子	大阪金剛インターナショナル小中高等学校 事務長
5	朴 東赫	金剛学園PTA 副会長
6	上条 和久	金剛学園PTA 副会長
7	久富 直樹	金剛学園PTA 幹事長